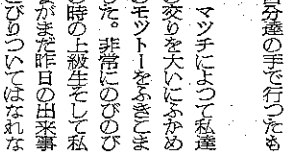

都高時報

第35号
都大附高新聞部
東京都目黒区衾町591
編集責任者　寺脇隆夫

高校生は手をつなごう

すすむ各校の話合

6月19日　本郷公會堂で

高校生会議

都高校生会議は、準備が遅れたために、来る六月十九日に、御茶の水の本郷公会堂で開催されることになつた。話合われる議題も、受験、就職、授業、クラブ活動、生徒会活動についてにまとめられた。又、当日は成城高校生徒会で作製した映画「無限の瞳」が上映される。

去る五日の準備会では、今まで実行委員会に団体として参加して来た都学連が、準備会に参加した人の意見で、都学連の名があると学校側が参加を許さないからと実行委員会からひくことになつた。そして高校生だけで運営していくことを決めた。開催を前に校内、校外の動きを中心に会議の模様をさぐつてみよう。

青山高校　校舎改築に高い寄附

青山高校では、校舎が廃墟も同然で勉強しにくい、それで今度校舎を建てることになつた。ところが多額の寄附が生徒に課せられ、生徒の方では、校舎は直してもらいたいがこんなに高い寄附ではと自治会が中心に寄付反対の運動をしてきたが、自分達だけではどうしようもないと他校との話し合いに参加することを生徒総会で決めた。

又、ある女子高校のグループの人達は〃同じ年の男性をどの様に考えていますか〃ということを話し合つたが、ガリガリ勉強している人はいや　ですという意見が出たところが皆、とくにそう考えている男の人、又今大学進学のために勉強している方の意見も聞いて話し合つてみたいと皆さん集まつて話し合つてはいかがでしようと言つている。

ある女子学園の生徒会長さんは準備会で「ある日私達の学校の近くに住んでいる映画会社の宣伝部長とかいう人の葬儀がありました女優さんや俳優が大勢来るというので休み時間に五六人の人が見に行つてしまい授業が始まつてももどつて来ない、先生が怒つて呼びにいかれたのですが、皆の前で〃どうして授業にでないでそんな所に行つているのですか〃ときかれると始めの内はいろいろ理由をあげていましたが遂にはつきりと〃だつてあんな試験勉強のための授業はおもしろくありません〃といいました。ところがその世界史の授業は、古代からやるのでなく現代からはじめてその原因を段々たぐつていくというやり方をして、新聞記事を豊富に使うし、平和運動の事などもくわしく話されるのでとても興味が湧かされ　るのです」と俳優を見にいつてしまうことはどうしたらよいか、それをあらゆる考えをもつ高校生が集まつて話し合い、協力できることがあれば、夫々の立場で努力しましようといつていた。

青山高校ラグビー部の人は、準備会で「学校はラグビーは危ぶないスポーツなのでよく干渉する又受験で練習が思うように出来ない。しかし、これは都内高校生でラグビーをしている者共通の悩みだ」と部の人に参加をすすめる決意を話していた。

本校の自治委員会で、この会議に参加を決めた態度というのは、およそ次のようなものだ。阿佐ケ谷のK女子高校の生徒会の人が準備会で「学校の干渉が強くて、生徒会にきた手紙など、皆先生が検閲し、今までにも渡されないものがあつた、映研に来た新宿高校の映研の人とのうち合せのしらせが、男子との接触だというので、手に渡らなかつた」と発言していたがこれを、解決するのに、本校の掲示板をめぐつての討論が、結局、先生とよく話し合つてゆくが、具体的には今までのとおり生徒の手で掲示をしていくようにしようとまとまつたのだが、K女子高校の人や他の同じような問題で困つている人ともつとよく話し合つていくのが解決するのに大切なんだということで参加を決め、実行委員会に代表を送ることになつた。

その後の話し合いでは、自治活動クラブ活動がうまく行かないが、どうしていつたらよいか、受験勉強の苦しい中で勉強会を通じてお互いのむすびつきをつよめていること、クラスマッチが生徒の力で面白くできたことなどを会議で話し合つてこようと意見が出されている。

都立のありのままを

この会議は、都内高校生の有志によつて、三月はじめから話し合われてきたもので、現在では、第五回準備会で選ばれた実行委員会によつて責任がもたれ前記のとうり開催の手筈が決つている。実行委員会を中心に準備会に参加している学校の数だけでも延べ四十数校になる。生徒会の集りである都高懇によつて主催された昨年　の連合文化祭が、スポーツと文化の高校生の集まりだつたとすれば、今度の会議は、すべての高校生が集まつて話し合うことが、私達高校生の相互の理解、経験の交流、協力にきつと大きな力になるだろう、という精神で、私達の高校生活、やりたいこと、協力できることを話し合う集りになるといえよう。

こうして、高校生会議の呼びかけは、明らかに支持され、関心をもたれている。しかし、もし学校の中での高校生会議に参加しようという話し合いをもつと活発にすることなしには本当に高校生会議を成功させることはできない。本校の実行委員藤田君（2B）は「この会議で僕達の学校に課せられた特別な使命は、僕達の学校のありのままを知らせ、僕達の考えていることを述べ、他校にとつて一つの実例となり目標になることだ。高校生全体の背負つている他の大きな問題について討論しなければならないことは勿論である」と述べている。

30年度予算決る

昨年より一・四倍の増加

昭和30年度校友会予算は予算委員会と各部個別折衝の後、五月二十八日、六月一日、二日と予算会議を開き決定を見た。昨年後期に自治会費の値上をしたため本年度総予算は昨年度の約一・四倍、四十三万円に増えたため、大部分のクラブは昨年度より増加している。

	名称	29年度	30年度
總務	自治委員会	34178	42622
	うたう会	490	3450
	わだつみ会	1490	1220
	小計	36158	47292
文化	新聞	27980	51160
	放研	13805	26210
	演研	14880	16930
	生物	10980	16440
	物化	6980	14030
	機研	8480	10790
	美研	9230	8690
	天文	5980	7160
	音楽	6480	7020
	社研	3560	6770
	文研	2980	5200
	中研	—	4990
	映研	1980	3370
	小計	113315	178760
運動	野球	38230	43160
	籠球	25580	33500
	庭球	21480	28160
	蹴球	23880	24640
	排球	19280	22790
	水泳	14455	17470
	卓球	12480	15160
	山岳	7730	13810
	柔道	4030	6650
	小計	167145	205340
	總計	316618	431392

「平和と友情」上映か

ワルシヤワ平和友好祭に高校生代表を

去る六月五日都大の文化祭で上映された、第四回世界青年学生平和友好祭（ブカレスト祭典）の様子を伝える映画「平和と友情」を本校でも再度上映しようという声が大きくなつている。「平和と友情」この一語で結ばれた世界の若人達が、僕達には全く夢のようなこの祭典に集つて十五日間を楽しく過した様子を描いたものである今年も第五回の友好祭がポーランドの首都ワルシヤワで開かれるがこの友好祭に高校生の代表を送ろうと日比谷高の平和懇談会で各校に呼びかけ、本校からも実行委員会に参加した。

次は「平和と友情」を見た小沢君の感想である。

「素晴しいツ、という一語に感想の全てがつきる」。終始感激の連続で映画を見終つてしまつた。世界各国の青年達の友好祭…それは人種も思想も国状をも超越し、全て平和と友情の一点で集つた青年達の美しく力強い集いである。以前からこの祭の内容を聞いてはいたが、これほどまでに規模の大きな、楽しいものであつたかということがこの映画でまざまざと感じられた。世界の青年達が一堂に会しお互に友好を深めることはなんとすばらしいことだろう。今年もワルシヤワで第五回目が開かれる日本から一人でも多くの、僕等高校生から一人でも多くの代表を送るために、この祭がどんなに素晴らしいものかを見てもらうためにも多くの人に見てもらいたい映画である。」（二C　小沢　正英）

落語や海苔屋さんの歴史も

東・工・都大文化祭

毎年春になると各大学で文化祭が行われるが、東大の五月祭、工大の全学祭それに都大の文化祭と幾人かの人に　感想を書い　てもらつた。

◎東大五月祭

恒例の五月祭が二七日から三日間開かれた。特に三日目の日曜日は休日と、催し物の多い事で、多くの人が集つたが、その中でも早川眞平オルケスタテイピア東京歌藤沢嵐子の音楽会に人気が集り、さしもの安田講堂もたちまちにして満員となつてしまつた。又無料で入る事の出来る落語発表会の会場の中からも常時笑いが絶えなかつた。工学部の船舶の所に於いては洞爺丸　事件に対する鋭いめすを入れ、天災か人災かについて我々の考えさせられた。また東大生の生活と意見の発表会場では、東大の存在と社会に出てからの存在が再びよみがえらせられた。他に土日の東大の歌声の最後の時にヘルシンキ平和　大会に向う東大生代表の宣言は真に印象的であり、その次に催される映画〃太陽のない街〃が約一時間も遅れ結局映画の終つたのは夜十時過ぎという始末であつた。（一年S・K）

◎工大全学祭

今年の全学祭は雨が降つたせいか見物人は大変少なかつた。各部で色々な展示物が陳列してあつたが説明文が一般の人々にはちよつと理解しにくいようなものだつたのは毎度のことながら残念であつた。あれ以上砕いて説明するとかえつて難解になるのかも知れない。一番注目　を集めたのは　原水爆展であつたようだ。無惨ともいうべき数々の写真の前にくぎずけされたように立つていた。今迄度々見たことのある写真ばかりであつたが、焼けただれた死体の山は思わず背すじに冷いものを走らせずにはおかなかつた。誰も彼もが何か考えさせられている様子に、僕ももう一度、写真に眼を走らせ、ある叫びが腹の底から突上げてくるのを押えながら門を出たのだつた（二年　O）

◎都大文化祭

都大の文化祭は去る四日より始つた。歴研が催した　大森の海苔屋さんの歴史は興味深いものだつた。わだつみ会の富士基地のルポルタージユは我々に平和を乱し原子戦争を準備しようとするものへ憤りを更に強くさせた。また五日の野辺地勝久のピアノリサイタルは最も人気を呼んだ一つである。これに続く映画〃平和と友情〃は観るものに〃すばらしいツ〃と感嘆の声を発させた。（二年　T）

主張

都高校生会議に皆で参加しよう

都高校生会議は六月五日に開催される。

自治会や校友会活動の停滞、それらはすぐさま受験難と結びつけられる。浪人しないで大学へ入れる人は毎年少くなつて行く。浪人は増えるのに大学は増えるどころか、縮少されようとしたり、格下げが行われようとしている。その勉強さえ就職のためにゆがめられたものになつている事は多い。僕ら高校生にとつてはあまりにせち辛い世の中だ。

そのような中にも会議では多くの高校生が矛盾した生活の中で少しでも明るく自由に勉強しようと努力している事を知るだろう。

昨年の連合文化祭に嵐の中をついて二千余の高校生が集り、歌いおどり、話合つたように会議の合間にはフォークダンスやコーラスの交歓もされるだろう。青春の血たぎる若人の集いがお通夜の晩でありようはずがない。

つい最近本校三年のK君が経済的な理由で退学した。もう後一年だからと友人や先生方も引きとめようと努力したが、結局止めざるを得なかつた。本や授業料のためにアルバイトをしている者は多い単に「金がない」ということだけで正常に勉強することが出来ないのだ。

今富士の演習地の事が問題となつている。祖先伝来の土地がわだちに荒され、うつそうとしたカラマツ林が丸坊主にされ、附近の人々は生きるための炭焼さえ手が付けられない状態だという。昔の日本軍さえ今アメリカが使つている半分も使つていなかつた。富士の山で砲弾をドカンドカンとやれば日本人が怒るのは当然。それを知りながら強行しようとするのは…富士は日本一の山、頂上をレーダー基地にしたら…、今準備されている原子戦争に最大の価値があるなにも富士だけの話しではない。立川、小牧、伊丹と飛行場が住民の反対を押切つて拡大されているのも、沖縄が未だ占領されていてアメリカの大原水爆基地となつているのも、原子戦争準備が着々進んでいることを表わしている。

その上濃縮ウランの受入れ問題多分日本人の感情を鈍らすためにも始めの条件は軽いものだろう。だが問題はその後である。アメリカの余剰原子炉の押付け、そして原子力発電ひいては日本　経済の（動力資源の）米国資本による完全な支配を甘受しなければならない。一般新聞が急に平和利用云々のみを取上げ、大々的に宣伝を始めたのもこのためである。確かに原子力は動き始めた。一方では原子力発電所、他方では原子力潜水艦として。都大の文化祭の時、民主青年団の展示と映画〃平和と友情〃を見たが、一昨年のブカレストのはすばらしいものだ。今年もワルシヤワでは第五回の友好祭が開かれる。この友好祭には日本からも数多くの人が参加するが、日比谷高の平和懇談会では高校生の代表をワルシヤワへ送ろうと全国の高校生に呼びかけている。ワルシヤワと時を同じくして日本でも日本青年学生平和友好祭が東京で今夏開かれる。これには、日本中の多くの青年学生が参加せんものと準備が進められている。

私達の生活を真剣に見つめ「いつたい高校生活とはたつた三年間だけなのか」「僕らが卒業するころは浪人が増えすぎてしまつて、大学に入れるだろうか」「味もそつけもないこんな勉強をつめこむやり方で一体何になれる　んだろう」等と疑問を持つ人は多い。そして健康的な生活、明るい学園を作り出そうと努力している。今年の一年生は何かすばらしいという声を聞く。すでに勉強会を始め、皆で協力し助け合い、疑問を解決して行く中で団結を強めている。クラスマッチの優勝を一年生にさらわれたのもそのためか。毎日昼休みにはバレーボールが白と土のこげ茶と草の緑とで良きコントラストを描いている。一年生の間から、歌う会でもつと楽しく歌うためにアコーデイオンを買おうという計画を始めたり、コンパをやるクラスがあつたり、校友会活動の危機といわれながらも、生れて半年そこそこの中研に二十人近くの部員が入り、研究会を着実に発展させていること。また、クラブ対クラブの親善試合を計画したり、多くの困難の中にも高校生活を明るく楽しいものにするための努力は続けられている。

私たちの持つ苦しみも、K君が退学しなければならなかつたことも、富士山やその他の基地のにくしみも、それに国民の持つすべての苦しみの起源というものは、少しも平和でない〃鳩〃山内閣がアメリカに従属して国土と産業の軍事化、基地や軍事用の道路にバク大な金をつぎ込み、原子戦争の準備に協力しているからなのである　それらは三十年度予算案の内容を見ただけでもはつきりわかる。

この様な中に都高校生会議は開かれる。この会議が当日一日だけに限らず、今夏の東京で開かれる日本青年学生平和友好祭へと、よりすばらしく発展させようではないか。ぼく達は若い。いつも口びるに歌をもち、うれしい事にも悲しい事にも皆んなで力を合わせて進んで行く。僕達にはその力がある。

十九日の会議には、皆んな一緒に参加しようではないか。平和とよりよき未来のために！

諸君にピントを合わせた
学習受験　文法詳説
浅尾芳之助　野村嗣男著　文法と根底要語を懇切に解説した！
改訂　徒然草　新刊
枕草子
更級日記
大鏡・増鏡
定価各210円　各360～430頁〒32
文法を詳説せる古典の解釈書として、本シリーズは全国高校生諸君より圧倒的絶賛を浴びつゝあり
新刊　文例明解　古文重要單語　浅尾芳之助著　一四〇円　B六判二七〇頁〒24
学習受験　国文法　浅尾芳之助著　350頁190円〒32
学習受験　現代文　阿部喜三男著　215頁140円〒24
日栄社編
総合整理　書取問題集　94頁50円　答14頁〒8
受験補習　書取問題精選　130頁60円　答20頁〒16
受験就職　読方・書取　問題要選　130頁60円　答20〒16
東京神田局錦町二ノ三　日栄社　振替東京16159

入学して二ヶ月
一年生の感想

今まで多かれ少なかれ受験ということに頭を悩した長い暗い冬から解放され、希望にみちた明るい春に待望の高校の門をくぐつた一年生の高校生活に対する希望は大きかつたことであろう。新しい一年年がこの都立に入つて二ケ月、その希望はみたされたであろうか、新しい生活での珍しいという時期はすぎ、あらためてその生活をみなおしてみる時期ではないだろうか。そんな意味から一年生のこの学校に対する感想を募つてみた、一部の人のものしかのせられないことは残念であるが……。

二年生の積極的な行動を望む
″自由の気風に満ちている学校″

都立に入つて来た新入生等は校風をすぐ様感じ取る。それは自由の解放感だつた。今までの古い殻を破つて独立を重んじる高校へ、それにはあまりにも都立は適切だつたのだ、あらゆる点で、我々はこの都立にプライドを持つているそしてあまりの歓喜に心は湧き躍る。他校から集つて来た我等は、今ではもうすつかり馴じんでしまつた。三ケ月以前は、まだ赤の他人であつたというのに。今ではこうして肩を組んで同じ道を行く、あのクラスマッチの際の大合唱、感激につきる。一年生はしらぬ間に楽しさを覚える。

ホームルームの時にボクはこういつた。「早く校風に馴じもうではないか」と。先輩とはクラブ活動で接し、広い見識を知り、伝統を受けつぎ更によくして行こうという意気が高まつている。他の学校に比べて自由の気風が満ちていることは都立の特色である。今や男女こぞつて手をつなぎ、古い型の″灰色の青春″的大学予備校化を打破して行こう。

「今年の一年は活潑だ」とか、「すごいぞ」などと先輩に呼ばれているけれど、三年はともかく二年生はどうしたのだろうか、もつと積極的に動いて一年生のまだ足らない所を指導していつてくれないと困る。三年生にはどうしても無理という線が出る。もちろん一年生も二年ばかりにたよつてはいられない。二年生は一部分が動いていて全体としての意気が高まらない。現状維持、怠慢が伴う。勉強するのでクラブ活動に入らないなんつておよそナンセンス、成程勉強は大切かつ大変、でも勉強するのは当然のことで、唯如何にしてそれを能率化または両立化させるのは各自のテクニックによるものだ。一年生ももつと入部すべし。ボクは唱う会を奨励する。十代の悩みも社会の矛盾もすつかり忘れて、若い世代を唱おう。歌は煩悶のはけ口だ、明日への希望だ。最後に一言、自由が行過ぎて、のんびりとした 倦怠にならぬようにしよう。

（一A　桝田健一）

″自主的な高校生活″

朝校門を入ると、澄みきつた朝の空気とひろびろとした新緑の校庭の一かくから聞えてくる美しい楽の音は、本当にすがすがしい。こうして私の一日の学園生活が始まる。それに、今では何年も前から続けて来たような、またたつた二ケ月しかたつて居ないにしては、余りにもなれきつた生活である。しかし、こんなに早く慣れることが出来たのは、なんといつても二年、三年の方々のお陰だつたと思う。クラスマッチ、クラブ活動等いたる所で強くそれを感じた。入つて日も浅い音智のコンパで、三年の男子の方が、私達にお茶をついで下さつた。普通に考えれば普通の事のようであるかもしれないけど、私にはまわりの和やかな雰囲気にとけこむ事ができた第一歩であつた。大体すべての課外活動において、先生の指導なしにはできなかつた中学時代に比べると、すべての面で自主的である高校生活は全く大きな違いであるその中で味う楽しさというものは前号で西之園さん達も述べて居られたがいいきれない喜びと力強さを感じる。私が一つ残念に感じたことは学校の自治活動の中心であるべき自治委員会が、私の感じでは、あまり活溌でない事である。今後もつと各ホーム・ルームやクラブから盛り上つたものになる事がのぞましいと思う

（一C　安井 久恵）

″愉快な事ばかり″
歌う会など

早いもので考えてみるとつい先だつて入学したばかりのように思えるのに、もう二ヶ月もたつているしく愉快な毎日楽々に追われて事月日たつのなど感じない位だ。この学校に入つて感じた事、思つた事を書いてみる。授業は一〇〇分だが初めは大変長く思つていた。しかしこのごろは、この方があたりまえになり、又この方がこのごろは多くの点で、ずつと良いと思うようになつた。又お昼休みに草原で歌を教えてもらつた事は、うれしかつたが、もう少し真面目にやれば良いのに、と思うような人も一年にいたのが残念だつた。私が上級生に聞くところによると、一般に一年生は、仕事は積極的で良いが、それが度を越すような感じがする場合があるそうだ。私も積極的なのは良いが、度が過ぎると、不真面目という風に感じられやすいから、考えなくてはいけないと思う。

それから少し驚いた事は、コンパをよくやる事である。

私などは中学校 生活の大 部分を「私立」で過ごして、なにかにつけて制限さ、先生方に指導されてきたので、特にこの学校の自由でのびのびして、何でも自主的に生徒によつて行うことが、なによりもすばらしく、力強く感じた。この学校は自由である。だけどこの間、大石先生がおつしやつたように、自由をはきちがえないように努力したい、この学校に入つて自由の中の規律がわかつてきた。

（一B　若山末智子）

目立つ貧弱さ
美研展覧会評

上野では今国際美術展が開催されているがそれと平行して我が美研においても一日から三日間都立画廊?において華々しく?春季美術展が開かれた。一般学生諸君の意見を綜合してちよつと批判がましく云うと会場の貧弱な事と参加作品の少ない事等が上げられる。特に二・三年の前回美術展に見た者達にはその失望が尚更に大きい様だ。作品の内容からすると特に注目を引いていたと思われる作品は増田さんの″作品一〇二六″と細野さんの″静物″の二作が主であつた様だ。綜合的に学生らしい発らつさと新鮮味が感ぜられたがその中でも一点模倣的なものがあり我々一般観覧者を失望させた。（S）

「活潑な個々の部活動」
今年の一年生について

″一年生をどう思う″なんて問われたつてとても一口には云えません。第一、妹や弟が増えたと云う言葉に続ける言葉だけになる。

全体としても、個々の部活動を通じても、非常に精力的であるとは云えそうです。積極的に動こうとする動き、その中に現三年、否都立に対する驚歎した様な思いが云つて見れば、意外な程の開放感と自主性に、自分をなれさせる努力それを通じて新一年生としての精一ぱいの働きを試みている。そんな感じを一年生の動きの中に見出せる様な気がします。

最後に、この努力を君達、僕達の都立を築く努力として、続けて行く事を今年の一年生に期待します。そうすれば、また別の立場から先号の″大石先生の投稿″を読み直す機会が 生れて来る でしよう。

（三A　宮川 喬）

中國、朝鮮、日本
国際親善試合成功す
男子バスケット・女子ソフト

去る六月八日本校体育館で行われた日本、中国、朝鮮三国の高校バスケット試合は中国チームの優勝に終つた。当日観衆は満員で特に中国対都立のシーソーゲームは大いにわかせた。結果は左の通り

都 立51——41朝 高
中 国62——58都 立
中 国76——38朝 高

なお中国チームは本校三年のR君の同窓で、横浜中華中学の同窓生チームである。

試合終了後、関係者の不備のため懇談会が開かれなかつたのは残念だつたとの声が聞かれた。また本校チームの三年生は最後の試合と思い大いに頑張つたが国際親善にふさわしく楽しかつたと感想を述べていた。

去る五月二十四日本校々庭で対朝鮮高校女子ソフト試合が行われ7対3で都立は敗れた。なお都立のチームは三年生と一年生で構成されており、正式のソフト部がないのでソフト部創設の声もある。

試合後、合併教室において両校一般生徒を交えた懇談会があり、試合の感想、両校の学園生活、私立花（朝高）の問題、朝鮮語について等が話し合われ、朝高側から7月頃迄にまた試合をしたいと希望が出され、最後に両校々歌を交歓、そしてスクラムを組んで″若者よ″″建設の歌″″東京北京″等、最後に″原爆ゆるすまじ″を歌つて散会した。以下は出場選手の感想である。

「技術面においては朝高は守備にむらがなく都立はむらがちだつたといえる。しかし親善試合としては非常に良かつたと思う。試合終了直後の「フレー、フレー都立、フレー、フレー朝高」の声に感激せざるをえなかつたしその後の交歓会のうちとけたなごやかさや、肩をくんで歌い合つた若者よの歌はえがたいものであつたと思う」

（一B　菊地典子）

「これで第三回目の交歓会を迎えたわけだが、回を重ねるに従つて交歓会の成果も大きくなつて行く今回は以前にましてすばらしかつた。内容的云々はとも角、中の雰囲気である。初めての人もいたが再度の人も多かつたので親しい感じがして実に嬉しかつた。私達三年生はこれが最後であることを惜しみながら今後の発展をより一層望んで参加したのであるが朝高の人から「卒業するまでに是非もう一度」という意見を聞いて今までの固定された考えが恥しかつた。

私達は近く再び朝高の人達と友交を 交わしたい」

（三B　鈴木文子）

夢の多い生活
踏み入れた未知の世界

天下の都立に入つてから早くも二ケ月たつた。この二ケ月間を思い起すと年中行事の代表ともいわれるあのクラス・マッチがあつた。優勝はめでたくC組がつかんだ。私はA組であつたがC組の人達以上に嬉しかつたのではなかろうかイヤ、一番幸福な人物であつたかもしれない。あの最後に輪になつて唱つた感激！ 上級生のめざましい活躍そして私達をリードする力、なにからなに迄が上級生にやつてもらつた様に見える。確かにその様な点が多かつた。しかし私達が本当に自分達の手で行つたものなのだ。

あのクラス・マッチによつて私達は上級生との交りを大いにふかめ又都立高校のモットーをふきこまれた感じがした。非常にのびのびと軽快なあの時の上級生そして私達新人生の姿がまだ昨日の出来事の様に頭にこびりついてはなれない。私達はこれからの高校生活にこれらを取入れ活用していかなくてはならない。——こう痛切に感じないわけにはいかないのである。そうしなければ気がすまないであろう。クラスマッチは非常に有意義であつた。浅間高原への遠足もわすれられない。又クラブ活動も非常に活発で上級生の導き方も親切であり先生方も非常に理解があるのですぐ親しめて私としては少し意外だつた。自由である。明朗である——私達の学校の特権であろう。そう私には思えた。今更でもないがこれが高校生活のスタートかと考えると楽しさで胸が一杯になつた。何から何迄が私の高校生活に対しての理想を成就しているかの様である。未知の世界は常に神秘で魅力である。その未知の世界に私達は一歩を踏み入れたのだ。その中からは何が得られるかわからない。しかし私達はその魅力にとられ元気に歩みつづけているのではない！

私達には明日は明日、明後日は明後日の糧と夢が待つているのだ。今日の私の気持である。

（一A　細田 博之）

ほしい高校生らしさ
—無限の瞳完成—

成城高校生 の自主映画「無限 の瞳」が完成した。この映画は成城高校三年生の千葉君が去年の夏、突然原子病のため倒れ、その千葉君を救うため全校に、また全日本の高校生にカンパをうつたえ、一時は千葉君も快方に向つた。その救援運動を描いたものである。

次はこの映画 を見た畦浦 さん（一B）の感想である。

この映画を見て、私は自分がなぜこんなに感動しないのか、ふしぎでたまりませんでした。

募金の場面だけが出てきて、輸血の場面が一つもでてこないというような技術的なまずさがあつたにしても、高校生だけで作つたという熱意と真剣さ、真実の訴えが激しく心をゆすぶつていいはずなのに、それさえもないのです。

「できるだけ記録的にこの映画をつくろうとした」と、同時に上映されたスライド″無限の瞳をつくりあげるまで″の中でいわれていましたが、やはり、千葉さんの死だけにとどめておいたのがいけないんじやないでしようか。千葉さんを救おうと全校が立ち上つたのは貴いと思います。けれど、全国の、もつと不幸な、たくさんの千葉さんをつくつたものへ、大きな怒りをむけなければいけなかつたのではないかと思うのです。

投書　バカだねエは やめて下さい

M先生、私は先生にお願いします。あの「バカダネエ」。はやめて下さい、先生はそれをどういう意味でおつしやつているのか知りませんが、決して生徒のためになるとは思つていらしやらないでしようそれは、いたずらに生徒を傷つけるだけではないでしようか「バカダヨ、あの子」なんていわれた人の心境を考えて下さい。あれをいうと皆は笑うけど、私は実に不愉快です。笑つている人だつて、心から楽しく面白い授業だと思つて笑つているのではないのです。それから六月七日のあるクラスでの生徒の質問など面倒くさいつていう態度には、大いに反省を求めます。それが先生の本心でなくてもあんなことをいわれるようでは、教師として少し欠けていると思うのです（一年Y）

予備校い上の
有効さやつぱ
り入會はここ
力と熱の指導
古今独ポ絶對
ゾーシンカイ
の通信テン削

☆愚息こと京大法学部に入学出来ました、友人四人のうち、三人は東京の予備校に、一人は京都の予備校に行かれましたが、予備校に行かずに貴会で御指導受けた愚息だけが第一次志望に合格出来ました。（後略）
（京都峰山高出身富田栄一君御堂より）
☆一年の浪人は覚悟で東大を受けましたところが意外にも合格してしまいました。（山口高校、高橋立夫君）
英・数・国　月三回指導
實力増進會
静岡県八幡局内240の 6
（会則及び一流大学合格体験記贈呈申込みはハガキで）

早く安くきれいな
謄写印刷
自由ヶ丘〒並平和堂文具店

いつも素晴しい味、量の
玉家のパン
都大坂下、玉家製パン店

紙と文具は
株式会社 津国屋商店
都大前通り　電(78)5472

智識の道標、良書の店
千文堂書店
目黒区下目黒１丁目３
（目黒パレス座前）